

## 熱の花

「数日前から風邪をひいたような症状があり、昨日からくちびるにムズムズするような違和感があった。今朝起きて鏡を見ると、くちびるに小さな水ぶくれが出来ていてピリピリ痛む」

これが「熱の花」の典型的な症状です。この病気の原因は「単純ヘルペスウイルス」というウイルスです。

単純ヘルペスウイルスは、人から人に、接触によってうつります。できる場所も、くちびるとは限りません。口の中・指・陰部・あご・鼻など、どこにでもできます。

このウイルスは、一度うつると一生からだに住み着いてしまうという特徴があります。

からだに住み着いたウイルスは、ふだんはおとなしくしているのですが、日焼け（皮膚への紫外線照射）、ストレス、月経、発熱、体力低下、急激な気候の変化といった刺激をきっかけに活動を始め、増殖を開始します。ウイルスは数日のうちに急速に増殖し、その後1～2週間かけて徐々に消えて行きます。皮膚の症状はウイルスが増えるほど悪化します。軽微な症状で終わることも多いのですが、ひどいときには広範囲に皮がむけてやけどのようになり、ひどく痛んだりすることもあるので油断大敵です。

このウイルス、身体に住み着いてしまうため一生付き合わざるを得ません。このため病気との付き合い方を心得ておく必要があります。まずは、ウイルスの活動のきっかけとなるような刺激を極力避け、発症しないように注意することが大切です。もし発症した時はすぐに病院にかかり、少しでも早く治療を開始するようにしましょう。というのも、この病気の治療に使う薬（抗ウイルス剤）は、活動し始めたウイルスが増殖するのを抑えることはできますが、ウイルスを殺すことができないのです。従って、ウイルスが増殖を開始した初期、まだウイルスの数が少ない時に使うほど有効なのです。「症状がひどくなったから治療しよう」では手遅れなので注意しましょう。

\*\*\*\*\*  
\* 〒808-0034 北九州市若松区本町3丁目4-11 2F \*  
\* 本町皮膚科スキンクリニック 丸山 剛 \*  
\* Tel : 093-761-2293 Fax : 093-751-0909 \*  
\* E-Mail : [honmachihihuka@jcom.home.ne.jp](mailto:honmachihihuka@jcom.home.ne.jp) \*  
\*\*\*\*\*